

令和8年
新春展

芦屋・

滴翠美術館

名品

—— 山口吉郎兵衛コレクション ——

2026年1・7(水) — 4・12(日)

【開館時間】午前9時30分〜午後4時30分(入館は午後4時まで)

【休館日】月曜日(但し、祝日は開館、翌火曜日休館)

【入館料】一般700円、大学生400円、中高生300円

小学生以下ならびにメンバーシップ校の方は無料

【呈 茶】一般1000円、メンバーシップ校の方は800円(予約優先・要別途入館料)

茶道資料館
Chado Research Center

〒602-0073

京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682番地
表千家センター内

TEL:075-431-6474



桐木地葛梅扇文蒔絵茶箱一式
(展示期間:1/7-2/8)

2026 New Year's Exhibition
Ashiya, Tekisui Museum of Art:
The Yamaguchi Kichirobe'e Collection
January 7-April 12



重要文化財
扇面鳥兜螺鈿蒔絵料紙箱
伝本阿弥光悦作
(展示期間:1/7-2/8)

の



黒胎袖長茶入 銘しらね
『仁清』在印

撮影者:田口葉子(全作品)



一方堂焼
信楽写筆洗形茶碗

芦屋・滴翠美術館の名品

山口吉郎兵衛コレクション

2026 New Year's Exhibition
Ashiya, Tekisui Museum of Art:
The Yamaguchi Kichirobe'e Collection

兵庫県芦屋市にある滴翠美術館は、大阪財界で活躍した山口吉郎兵衛（1883～1951 雅号・滴翠）が収集した美術コレクション約2500点を所蔵公開している美術館です。旧山口銀行（合併により三和銀行、さらに現三菱UFJ銀行へ）の頭取として活躍した吉郎兵衛は、引退後に京焼などの茶道具やかるた、人形を熱心に研究し、約20年にわたって収集を行いました。吉郎兵衛の没後、昭和43年（1968）に夫人が住宅の一部を滴翠美術館として開放し、遺愛の美術コレクションを公開しました。

本展覧会は、その中から約70点もの名品を厳選して京都の地にて紹介する、初めての展覧会です。京焼をはじめ、関西の希少な茶陶や、天正カルタなどの珍しいカルタ類など、滴翠美術館ならではの魅力溢れる作品をご紹介します。



大横物「一華開五葉」 江戸宗玩筆・松花堂昭乗画（展示期間：1/7～2/8）



色絵金彩菊水文水指 野々村仁清作



黒茶碗 銘 本法寺 伝本阿弥光悦作



清閑寺焼
色絵箱（えびら）形花入



七福神香合
仁阿弥道八作



色絵百人一首文角向付
尾形乾山作（10枚の内）

関連イベント

「芦屋ゆかりのお菓子で楽しむ呈茶とギャラリーツアー」

日時＝2026年2月19日（木）、25日（水）

①10時～ ②14時40分～（各回約90分）

定員＝各回20名

参加費用＝2,000円（入館料・呈茶代含む、税込み）

呈茶の後、「滴翠美術館名品にみる懐石の器」についての特別解説と、ギャラリーツアーを行います。

（日本調理科学会近畿支部食文化分科会協力）

申込＝茶道資料館HPよりお申込みください。

茶道資料館

Chado Research Center



〒602-0073 京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682番地裏千家センター内
TEL:075-431-6474

<https://www.urasenke.or.jp/textc/gallery/>（日本語）

[https://www.urasenke.or.jp/textc/resources/organ-konnichian/gallery/\(English\)](https://www.urasenke.or.jp/textc/resources/organ-konnichian/gallery/(English))

メンバーシップ校

京都芸術大学、
立命館、光華女子学園、
京都大学、
京都工芸繊維大学、
同志社、平安女学院、
京都文教学園、
京都精華大学、
京都府立医科大学、
京都府立大学、
京都外国語大学、
京都産業大学
（加盟順）



アクセス

【市バス】■JR京都駅中央口のりばB1より⑨ ■阪急大宮駅下車3番出口→四条堀川より⑨⑫※いすれも堀川寺ノ内下車、徒歩3分 ■京阪出町柳駅より⑨⑫⑭⑮、堀川今出川下車、堀川通東側を北へ徒歩10分

【地下鉄】■烏丸線鞍馬口駅下車、西へ徒歩15分 ■東西線二条城前駅より市バス⑨⑫、堀川寺ノ内下車、徒歩3分